

兵庫県丹波市での取り組み課題①

ローカルでスモールな博物館の展示方法と屋外活用を考える

<課題オーナー：青垣いきものふれあいの里 館長>

青垣いきものふれあいの里は、身近な自然の中で野鳥や昆虫などの小動物及び植物の観察を通じて自然の大切さやかかわり方を学ぶ施設である。丹波の最北端に位置する小さな博物館は存続の危機や入館者をどのように増やすかという課題を抱えている。数年先にあるリニューアルに向けて、展示空間のデザインや手法に加えて、自然豊かな屋外空間の活用について検討を行う。

目標、内容イメージ

施設の職員や行政へのヒアリング、地域のニーズ調査を行いどういった施設が必要とされているかを調査する。実際に提案を作成やイベントを企画することで、課題の深掘りをすると同時にリニューアルするために具体的な方法を考える。また、実際にリニューアルを予定しているので、長期的に関われる学生などにも向いている。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、提案の作成、イベントの企画

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター＋植地

協働者：佐治倶楽部など



青垣いきものふれあいの里 HP

兵庫県丹波市での取り組み課題②

宿場町ライブラリープロジェクト！

<課題オーナー：NPO 法人佐治倶楽部>

佐治倶楽部では空き家を活用した取り組みを実践しており、空き家活用を通じたコミュニティづくりを実践している。さまざまな活動をしている中で、「宿場町ライブラリープロジェクト」という活動に関わってもらおう。本屋がない青垣町でだれしものが気軽に滞在できるライブラリーづくりを実施し、空き家の活用や多世代交流といった課題に取り組む。

目標、内容イメージ

今回のプロジェクトでは、佐治という宿場町にどういったライブラリーがあればいいかということを実際に活動している方々から話を聞いて、実践を想定して提案を作成してもらおう。現在、走り出している企画のブラッシュアップや効果検証などに取り組む。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習、ライブラリー会議への参加

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作、
古民家リノベーション

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+植地+地域おこし協力隊

協働者：mamimumemobookbook、まねき堂はしもと、佐治倶楽部など



NPO 法人佐治倶楽部

兵庫県丹波市での取り組み課題③

地域交流拠点 CHATTA ベースの運営を考える

<課題オーナー：CHATTA（ちゃった）>

丹波市氷上町成松の商店街にある地域の方と関西大学の学生とで、改修や運営をしている地域交流拠点 CHATTA ベースの運営方法を考える。商店街と書いてあるが、シャッターが閉じてしまっている店がほとんどの成松で、こういった地域拠点があるべきか考える。

目標、内容イメージ

現在、改修を進めている CHATTA ベース。「商いの拠点」「チャレンジの拠点」「学生の拠点」という三つの柱を軸に活動をしているが、改修後の運営方法や資金の調達方法については検討中であり、ヒアリングや地域調査などを通して、どのような拠点がこの場所にあればいいか提案を考える。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習、CHATTA 会議への参加

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

8/23-25 愛宕祭

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+植地

協働者：CHATTA、中央地区自治振興会、ATACOM、佐治倶楽部



ATAGOCOMPETITIONPROJECT

CHATTA（ちゃった）

福井県大野市での取り組み課題①

大野の地域メディア制作プロジェクト

<課題オーナー：大野の印刷・編集室 みなと>

大野には、水のまちならではの営みや昔からの知恵や技術、産業が残っている。そういった大野の暮らしや失われつつある知恵を読み解き、それらを伝える紙媒体の制作を行う。現地での印刷・発行までも行う。

目標、内容イメージ

地域の編集に関して、プロジェクトの企画および調査、市民への取材、編集と印刷・発行を通じて、実践的にプロジェクトの一連の流れを経験する。

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+三浦

協働者：横町編集部、「月刊のーのー」制作部、荒島社など



大野の印刷・編集室 みなと

福井県大野市での取り組み課題②

福井サーモンの持続可能な養殖

<課題オーナー：(株)sa-mo>

現在、世界的な食糧難により、サーモン養殖に使われる餌の主原料である魚粉の価格が、この15年間で約3倍に高騰している。そこで弊社では、有機廃棄物を原料に量産した昆虫を養殖餌に加工し、サーモンの養殖に取り組んでいる。しかし一方で、昆虫を使用していることにネガティブなイメージを持つ方が一定数おり、その解決が今後の課題となっている。

目標、内容イメージ

今回のプロジェクトでは、昆虫由来の餌で飼育したサーモンの商品開発を行い、学校祭などでの販売を通じてポジティブなイメージを持っていただける伝え方を模索していく。

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+三浦

協働者：横町編集部、市内飲食事業者



(株)sa-mo について

<記事：福井県立大学では初となる学生による大学発ベンチャー企業が誕生しました>

福井県大野市での取り組み課題③

農と食、都市と地方

<課題オーナー：純ちゃん農園>

広大な土地が広がる大野市。農業は当市の基幹産業となっているが、人口減少と仕事の多様化による労働力不足、農機具に代表される生産コストの増大の一方で価格転嫁が進まず、農業経営が圧迫されて深刻な状況となっている。近年は、食料安全保障と呼ばれるように、食と農の在り方が見直されつつあり、生産者と消費者、みんなで農業について考える機会とすべきだと思っている。そこで、今回は農業に携わったことがないからこそ、農業の現状を知り、そこから農業者が経営を持続でき、消費者も安定的に食料を得られる循環の仕組みを、当農園をモデルに作ってほしい。

目標、内容イメージ

- ・農業の現場をみんなに理解してもらえるような発信(深刻だからこそ耳を傾けられにくい。だからこそ、耳を傾けてもらえるような方策が必要)
- ・当農園の農産物に付加価値をつける方策づくり(規格外品の活用とロスの削減、地産地消はもとより、地産外消の確立)
- ・労働力を確保するための方策(ちょこっとお手伝い アプリ DAY バイトを活用など)

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+三浦

協働者：横町編集部、市内飲食事業者



純ちゃん農園

河内長野市南花台での取り組み課題①

映画館のない街での映画上映会の実践

<課題オーナー：コノミヤテラス運営研究会（関谷+地域住民）>

2024年に実施したアボカドプロジェクトでの関大生による映画上映会が好評だったが、一方で、上映会の持続性の部分については課題が残る結果となった。そこで、昨年度の実践結果を踏まえつつ、コノミヤテラスを起点とした文化発信としての持続的な映画上映会の提案と実施を考える。

目標、内容イメージ

- ・河内長野市、南花台に関するフィールドワーク、地域住民へのヒアリング等の調査活動
- ・映画上映会の提案、持続的な活動のための計画づくりとその実践

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 フィールドワーク、アウトプット方法の検討、実践

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+関谷

協働者：地域住民



コノミヤテラス

河内長野市南花台での取り組み課題②

地域で行う里山保全活動のあり方とは？

<課題オーナー：里山わびすけ>

「里山わびすけ」は、河内長野市美加の台に隣接する「里山」の自然フィールドであり、里山活動を通じて、家庭、学校、職場でもないもう一つの居場所をみなさんと創っていくこと、心あたたまる時間を共有すること、を目的に活動している。生物多様性や持続可能性について多くの人に伝えながら、活動としての持続性をどう担保するのか、里山わびすけの方々と一緒に考える。

目標、内容イメージ

生物多様性や持続可能性のありかたについて考えたり、里山わびすけの活動体験や活動の提案・実施、持続的な活動のための計画づくりを行う。

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 里山わびすけ訪問、ヒアリング、アウトプット方法の検討、実践

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：里山わびすけ、地域住民



里山わびすけ

河内長野市南花台での取り組み課題③

合意形成オンラインプラットフォームの活用方法

<課題オーナー：河内長野市+コノミヤテラス運営研究会>

河内長野市では、『じっくり話して、しっかり決める』のコンセプトのもと開発された、市民参加型合意形成プラットフォーム”Liqlid”を導入し、市の計画づくりやワークショップを進めている。しかし、まだまだ認知度は低い状態にある。河内長野市そして南花台での Liqlid の普及方法について具体的に検討し、実践を行う。

目標、内容イメージ

- ・河内長野市、南花台に関するフィールドワーク、行政へのヒアリング等の調査活動
- ・Liqlid 活用と普及のための提案とその実践

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 ヒアリング、アウトプット方法の検討、実践

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：河内長野市市役所、地域住民



Liqlidとは